

登録コード	L1541500	開講年度	2026	
担当教員	今井 章	副担当	松本 昇	
授業科目	心理実習 I (心理実習)			
英文授業名	Practical Training in Psychology I			
授業タイトル	心理実習 I (心理実習)			
単位数	1	対象学生		講義期間 通年(集中) 曜日・時限 集中・不定期
講義室		遠隔授業科目		読替科目 読替科目は履修案内を確認すること
信大コンピテンシー	非該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		⇔	【授業の達成目標】
	2022Lカリ, 2021Lカリ			
	【2022年度以前カリ対象】変容する社会を冷静に分析し、時流に迎合することなく価値判断できる批判力		⇔	変容する社会を冷静に分析し、時流に迎合することなく価値判断できる批判力が身につくようになる。
	【2022年度以前カリ対象】異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができる受容力		⇔	異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができる受容力が身につくようになる。
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ			
	【2023年度以降カリ対象】人文学部人文学科の学士(文学)の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】		⇔	人文学部人文学科の学士(文学)の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身につくようになる。
	【2023年度以降カリ対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】		⇔	専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身につくようになる。
授業で学べる「テーマ」	その他			
全学横断特別教育プログラム				
授業の概要	本実習では、司法・犯罪分野の施設としての松本少年刑務所、および福祉分野の施設としての長野県松本あさひ学園で、見学を中心とした実習を行う。それぞれの施設を実地に訪ね、実習指導者による講義を聴講し施設内を見学する。 なお、松本あさひ学園での実習には別途、2日間分の実習費(1日当たり3200円+昼食代)を各自で用意する必要がある。			
授業計画	第1週 ガイダンス 第2～14週 事前学習と事前指導、松本少年刑務所での実習(半日)、長野県松本あさひ学園での実習(2日)、事後学習(ふりかえり)と事後指導 第15週 まとめと授業アンケート 定期試験なし 実際の実習は主に夏期休業期間を利用して行う予定であるが、実習先の事情やその他の状況により実習日、予告した内容等を変更する場合がある。			
成績評価の方法	実習参加前の事前学習によるレポート(3割)、実習への参加によるレポート(5割)、実習参加後の事後学習によるレポート(2割)を総合して評価する。 なお、単位取得のためには、両施設での実習に参加する必要がある。			
成績評価の基準	事前学習によるレポート、実習への参加によるレポート、実習参加後の事後学習による3つのレポート全てが、卓越して当該施設の概要と実態を捉え、またその問題点とを整理できていれば「卓越している」、優れて当該施設の概要と実態を捉え、またその問題点とを整理できていれば「かなり上にある」、的確に当該施設の概要と実態を捉え、またその問題点とを整理できていれば「やや上にある」、基本的な当該施設の概要と実態を捉え、またその問題点とを整理できていれば「その水準にある」と評価される。			
事前事後学習の内容	事前学習として、各自が当該施設の沿革、役割、勤務内容等について調べ学習を行う(各施設につき6時間)。事後学習として実習で得た体験および新たな視点について、ふりかえりと体験の共有を行う(各施設6時間)。			
履修上の注意	心理学・社会心理学コースの4年生であり公認心理師の資格取得を目指す学生で、4年次までに受講すべき必要科目を履修し、単位を修得した学生にのみ受講を認める。			
質問、相談への対応	木曜日の12:30～13:30のオフィスアワーにて対応する。事前にメール(imaiakr@shinshu-u.ac.jp)にて予約をする。			
教科書	使用しない。事前、事後指導時に適宜、資料などを配付する。			
参考書	事前、事後指導時に適宜、紹介する。			